

2025 年 12 月

大貫恵美子, Ph.D. (Emiko Ohnuki-Tierney)

ウィリアム・F. ヴァイラス研究専門教授(William F. Vilas Research Professor)

ウィスコンシン大学マディソン校人類学部

現住所: Dept. of Anthropology, Univ. of Wisconsin, Madison

5462 Social Science Bldg., 1180 Observatory Drive, Madison, WI 53706 USA

電話: 608-262-2866 ファックス: 608-265-4216 ehonukit@wisc.edu

www.anthropology.wisc.edu/Ohnuki-Tierney/index.html

自宅電話: 608-222-4510

昭和 9 年、神戸市生まれ。1958 年渡米。

学位

ウィスコンシン大学マディソン校、Ph.D. 人類学。1968。

ウィスコンシン大学マディソン校、M.S. 人類学。1964。

Summer Linguistic Institute, インディアナ大学。1964。

津田塾大学. 英文科卒。1957.

甲南小学校、甲南女子中・高等学校卒。

学歴

1968. 一月－六月。講師。社会学・人類学学部。Marquette University.

1969. 九月－六月。客員講師。人類学部。ウィスコンシン大学人類学部。

1970. 九月－六月 1971. 客員助教授。人類学部。Beloit College.

1973. 九月－六月 1976. Honorary Fellow。人類学部。ウィスコンシン大学。

1974. 一月－六月. 客員講師。人類学部。Beloit College.

1974. 九月－六月 1976. 助教授。人類学部。Beloit College.

1977－1980. 助教授。人類学部。ウィスコンシン大学。

1980-1983. 准教授。人類学部。ウィスコンシン大学。

1983-現在。教授。人類学部。ウィスコンシン大学。

1988－現在. Vilas 研究専門教授

Honours

La médaille du Collège de France. 名前彫り込みのメダイユ。2014年1月7日と13日に講演。

“Interview with Leading Thinkers.” ケンブリッジ大学 Audio-Visual Archives.

2011年8月4日に載る。

パリ高等研究所。フェロー。2010年5月15日—8月15日；2014年1月1日—1月27日。

アメリカ議会図書館クルーギ・センター現代文化特別招聘学者。2008年5月7日一年間の招待。2009年2月1日—7月31日。

アメリカ学士院正会員（1999年より現在）。中西部支部役員（2002年11月より2009年支部解体まで）。

高等行動科学センター。スタンフォード。フェロー。1988年9月-89年6月)

高等研究所。プリンストン。メンバー。1986年9月-87年6月)。

ウィリアム F. ヴァイラス 研究専任教授（1988年7月より現在）。

ジョン・サイモン・グーゲンハイム・フェローシップ(1985-86年)。

受賞

瑞宝中綬章。2020年11月3日。

<https://eastasia.wisc.edu/2023/02/13/japanese-anthropology-professor/>

“La médaille du Collège de France” を受賞。2014年1月7日と13日の Collège de France での講演の際。

Kamikaze, Cherry Blossoms, and Nationalisms: The Militarization of Aesthetics.

キリヤマ環太平洋文学賞（ノンフィクション）最終候補。2004年

Rice as Self--1993 Honorary Mention, Sociology & Anthropology, Professional & Scholarly Publishing Division, 米国出版社協会。

『日本人の病気観』サントリー学芸賞。1986年12月。

H.I.ロムネス教授賞。ウイスコンシン大学。1982年。

客員/招聘教授歴

社会科学高等研究院（コレージュ・ド・フランス）客員フェロー。（2015年4月—6月；2017年3月；2018年3月）。

パリ高等研究所。フェロー。2008年受任。2010年5月15日—8月15日；

2011年3月10—18日；2014年1月1日—1月27日；2016年5月2日—7月15日；2017年3月1日—31日。

国際日本文化研究所。猪木武徳所長特別任命客員研究員。2012年4—8月。

アメリカ議会図書館クルーギー・センター現代文化特別招聘学者。2008年5月7日 一年間の招聘受任。2009年2月1日—7月31日。

ハイデルバーク大学日本学部客員教授。集中講義（2009年12月）。
 オーストラリア国立大学(人類学部 及び太平洋・アジアの歴史学部)。国際客員
 研究員。2008年7月・8月(辞退)
 オックスフォード大学セントアントニー校。シニアアソシエイトメンバー。
 2005年及び2006年（辞退）
 ベラージオ・ロックフェラー研究センター員。1998年10月1-31日。
 カルフォルニア大学ロサンジェルス校。歴史学部／日本研究センター。ポール
 テラサキ Chair。2005年1月—6月。（辞退）
 フランス社会科学高等研究院。Directeur d'études associé (1990年2月；1992年4月；
 1997年5月-6月；1998年6月；2002年5月；2007年3月)
 ミシガン大学。日本研究センター。トヨタ客員教授一年間招待。1995年9月—12月。
 ハーバード大学人類学部。ライシャワー日本研究所。世界宗教研究センター
 （客員教授/シニアフェロー）1993年9月-1994年6月。
 マンチェスター大学人類学部 1990年。Lord Simon 教授
 高等行動科学センター。スタンフォード。フェロー。1988年9月-89年6月)
 高等研究所。プリンストン。メンバー。1986年9月-87年6月)。
 オックスフォード大学。日産日本研究所（客員教授）セントアントニー校
 （シニア・アソシエイトメンバー）1986年トリニティ学期。
 国立民族学博物館（千里）準研究員(1979-1980年)。研究協力者
 (1985-年4月1日—2003年3月31日)。

主なフェローシップと研究基金

ジョン・サイモン・グーゲンハイム・フェローシップ。
 National Endowment for the Humanities
 ベラージオ・ロックフェラー財団。
 ウェナー・グレン人類学研究財団（現地調査、シニアスカラー、
 モロッコにおける学会のオーガナイザー）
 国際交流基金（日本政府）
 アメリカ国立科学財団。National Sciences Foundation。（2回）
 フルブライト。

現地・資料調査

歴史資料調査。創られた「日本の自然」——歴史の変遷。2016年10月2—10日。
 2017年5-29日。2018年5月5-29日。2019年4月。2024年3月—4月。
 歴史資料調査。日本史における象徴、経済、政治資本の相互関係。2012年4月
 —9月。
 日本文化の象徴の複雑さ・不透明さ。2010年3月—4月。

商品化とモダニティ。2005年11-12月。2006年3月。2007年4月。
 台湾原住民阿美族の予備調査。2007年4月。
 桜の象徴と日本の軍国主義化。東京と京都。1995年3-4月。1996年1月、3-4月。
 1997年6-7月。1999年4月。2000年7-8月。2002年6月。2003年5-6
 月。2004年9月。2005年12月。
 東京と大阪におけるマクドナルドやその他のファーストフード。1994年8-9月。
 脳死と臓器移植に対する態度。東京、大阪、神戸。1993年8月。
 日本社会での贈与交換。1992年より継続中。
 日本文化における米の象徴的意味。金沢、大阪、神戸、東京。1988年11-12月。
 1990年5-7月。1991年4月。
 日本文化における猿と猿廻しの象徴意味。岡山、大阪、東京、筑波、札幌。1980年4
 月。1984年5-7月。1987年5月。
 日本の都市における病気観と三種の医療制度。阪神間。1976年。1979年
 2月-6月。1980年4月と5月。
 北海道に移住した樺太アイヌ。1965年6月。1966年5月。1969年3-5月。
 1973年9-10月。
 デトロイトの中華街の歴史的研究。1960-61年。1963年夏。

学術会議の主催

1986 – Conference, “Symbolism through Time.” Wenner-Gren Foundation for
 Anthropological Research. Fez, Morocco. 世界各地（日本、アメリカ、イギリス、
 カナダ、ノールウェー、イスラエル）から合計17人の学者を招待。
 2013 – アメリカ人類学会。 “The Ontological Turn in French Philosophical Anthropology” を
 主催。Philippe Descola と Bruno Latour をフランスより招待。聴衆者約800人。

学術出版

著書

2025. つくられた「日本の自然」——「日本の自然」はどのように語られてきたか。
 みすず書房。

2025 *Representations of “Japanese Nature”: A Historical Overview*. Berghahn Books. 221頁。

2021 「樺太アイヌ民族誌—北西海岸の生活と世界観」坂口諒訳。青土社。
 215頁. xii-xvi頁（引用文献；樺太アイヌ研究書網羅）。

2020 『人殺しの花: 政治空間における象徴的コミュニケーションの不透明性』。

岩波書店。273 頁。31 頁(文献一覧)。

- 2015 *Flowers that Kill: Communicative Opacity and its Political Significance*. Stanford University Press. 270 頁.
- 2013 *Kamikazes : Fleurs de Cerisier et Nationalismes : La Militarization de l'esthétique dans l'histoire du Japon*. L'Institut d'Études Avancées –Paris • Hermann. 580pp.
- 2006 *Kamikaze Diaries: Reflections of Japanese Student Soldiers*. シカゴ大学出版。
第 1 刷 2006 年 6 月。第 3 刷 2006 年 11 月。ペーパーバック 2007 年 3 月。
E-Book 2010. 227 頁 + 37 頁 (序章)。

ポーランド語訳 : *Dzienniki Kamikadze: Poruszające Wyznania Japońskich Studentów. – Pilotów*. Wacław Sadkowski 訳 282 頁。ワルシャワ : Fontanna 2007 年

ロシア語訳 : ДНЕВНИКИ КАМИКАДЗЕ: Размышления японских солдат-студентов. Москва : Olimp. 2008.

ポルトガル語訳 : *Diários dos Kamikaze: Uma Salutar Correção às Muitas Caricaturas de Kamikazes*. 290 pp. Colares, Portugal: Pedra da Lua. 2008.。

ウルドゥ語訳。ラホレ、パキスタン。Jumhoori 社。2013 年。284 頁。

トルコ語訳。Hece Basın Yayın Reklamcılık San. 2016 年 3 月。368 頁。

- 2006 『学徒兵の精神誌』岩波書店 332 + 6 頁。第 2 刷 2006 年 4 月。第 3 刷 2007 年 9 月。第 4 刷 2007 年 12 月。
- 2003 『ねじ曲げられた桜：美意識と軍国主義』602 頁。5pp。索引。岩波書店。
第 1 刷 2003 年 4 月 22 日。第 5 刷 2006 年。2021 年：現代文庫。上 (326 頁) ・
下 (446 頁) 佐藤卓己解説。

韓国語訳 : 『사쿠라가 지다 젊음도 지다: 미의식과 군국주의.』 Lee

Hyang-Chui 教授訳。ソウル : Memento. 2004 年。

繁体字中国語訳。被扭曲的櫻花：美的意識與軍國主義。台北。聯經出版事業公司 (Linking Publishing Company)。20014 年 11 月出版。堯嘉寧訳。国立台湾大学顔杏如博士序文。570 頁。2021. 商务印书馆有限公司

- 2002 *Kamikaze, Cherry Blossoms, and Nationalisms: The Militarization of Aesthetics in Japanese History*. シカゴ大学出版。411 頁。E-Book edition 2010.
PDF (序説 第 2 章)

キリヤマ環太平洋文学賞 (ノンフィクション) 最終候補。2004 年。

New York Review of Books, XLIX, No. 18, pp. 24-26. I. Buruma 書評。

イタリア語訳 : *La vera storia dei kamikaze giapponesi: La militarizzazione dell'estetica nell'Impero del Sol Levant.* 382 頁。Paravia Bruno Mondadori Editori. 出版。2004 年。

フランス語訳 : *Kamikazes, cerisiers en fleurs et nationalismes: La Militarisation de l'esthétique dans l'histoire du Japon.* パリ 高等研究所・Hermann 社。580 頁。2014 年。

簡体字中国語翻訳。石峰教授訳。北京。商務印書館。488 頁。2016 年。

1995 『コメの人類学：日本人の自己意識』 288 + 24 頁。岩波書店。

韓国語訳 : Sowha 出版。1995. 311 頁。

韓国語訳 : 小花出版。2001 年。

1995 『日本文化と猿』 297 頁。平凡社。

1993 *Rice as Self: Japanese Identities Through Time.* 184 頁。プリンストン大学出版。第 3 刷 1995 年。

簡体字中国語翻訳。石峰教授訳。浙江大學出版社。2015 年。210 頁。

再出版。石峰教授訳。北京。商務印書館。2022. 231 頁。

1987 *The Monkey as Mirror: Symbolic Transformations in Japanese History and Ritual.* 269 頁。プリンストン大学出版。

1985 『日本人の病気観』 岩波書店。第 8 刷 2000 年。350 頁。

1986 年サントリー学芸賞受賞。

1984 *Illness and Culture in Contemporary Japan: An Anthropological View.* ケンブリッジ大学出版。第 8 刷 2000 年。242 頁。

1981 *Illness and Healing among the Sakhalin Ainu: A Symbolic Interpretation.* ケンブリッジ大学出版。ペーパーバック 2014. 245 頁。

1974 *The Ainu of the Northwest Coast of Southern Sakhalin.* 127 頁。ホルト・ラインハート&ウィンストン出版（ニューヨーク）。1984 年。ウェーブランド出版社による再販。

ロシア語訳 : *Kraevedcheskii Biulleten* (1996 年 No. 1, 3-33 頁, No. 2, 57-105 頁, No. 3, 89-127 頁, No. 4, 35-77 頁)。T. Pooh 博士訳。

1969 *Sakhalin Ainu Folklore*. Anthropological Studies No. 2. 183 頁。アメリカ人類学会。
[PDF](#)

1964 *The Detroit Chinese: A Study of Socio-Cultural Changes in the Detroit Chinese Community from 1872 through 1963*. 修士論文を製本したもの。119 頁。
デトロイト公立図書館、UCLA 図書館等に所蔵。

共著

1979 『樺太自然民族の生活』 知里真志保・山本祐弘共著。244 頁。相模書房。

編集

1990 *Culture Through Time: Anthropological Approaches*. スタンフォード大学出版。330 頁。

1982 *Symbolism and Cognition II*. Special Issue of *American Ethnologist* 9(4). With J.W.D. Dougherty, J.W. Fernandez and N. E. Whitten, Jr.

学術論文（主要な出版物のみ）

- n.d. Sakhalin Ainu Bear Ceremonialism and Shamanism: Complementary Cultural Institutions. (Submitted to a journal)
- n.d. The Lives and Work of Sakhalin Ainu Women. To be published as the keynote address in the International Symposium: Byways of Indigeneity: The tangible and intangible heritage of Ainu women in Japan). Institut National des Langues et des Civilisations Orientales. Nov. 25-26, 2024. Edited by Noemi Godfroy.
- 2019 The Japanese Monkey: Shifting nature/culture boundaries. In *Au seuil de la forêt: Hommage à Philippe Descola, l'anthropologue de la nature*. In Geremia Cometti, Pierre Le Roux, Tiziana Manicone et Nastassja Martin, eds. Paris, Tautem, Pp.777-792.
- 2019 The Militarization of Cherry Blossoms. In, *Militarization Reader*. R. J. González, Gusterson, & Houtman, eds. Duke University Press. Pp.143–128.
- 2017 Élan vital but then: Intimate Ethnography of a Man from Jedwabne. Review article of *My Father's Wars: Migration, Memory, and the Violence of a Century*. By A. Waterston. *Current Anthropology* 58 (5): 684-685. New York: Routledge. [PDF](#)
- 2017 Primates as Metaphors/Symbols. In, *International Encyclopedia of Primatology*. Agustín Fuentes, ed. Hoboken, NJ: John Wiley. Pp. 1-7 (1118-1124) [PDF](#)
- 2015 Stanley Jeyaraja Tambiah. Biographical Memoir Commissioned by the National Academy of Sciences. Pp. 1-13. アメリカ国立科学研究院任命。
- 2015 We All Share Rice and Rice Paddies: Asian Identities of the Japanese Through Time. In, *La part de l'Asie dans l'identité japonaise*. Pp. 123-152. Centre Européen d'Études Japonaises D'Alsace. [PDF](#)
- 2014 Wild Pansies in Japan: Claude Lévi-Strauss as Humanistic Anthropologist. *American Anthropologist* Vol. 116, No. 2: 434-436. [PDF](#)

- 2013 "Cong bijiao de shijiao kan riben yuzhou lun zhong de shan" (Mountains in Japanese cosmology from a comparative perspective). *Northwestern Journal of Ethnology*, Issue 2 (2013), pp. 76-78.
- 2013 At the Base of Local and Transnational Conflicts: The Political Uses of Inferiorization. In, *Radical Egalitarianism: Contemporary Galactic Politics in Comparative Perspective*. F. Aulino, M. Goheen, and S. J. Tambiah, eds. New York: Fordham University Press. Pp. 220–232. [PDF](#)
- 2012 "Food and Anthropology." *The Oxford Handbook of Food History*. Jeffrey M. Pilcher, ed. Pp. 117-134. Oxford University Press (with K. Tierney)
- 2012 La culture japonaise de « l'ici » et « maintenant » de Katō Shūichi dans les concepts du temps et de l'espace. Réflexions à partir de l'anthropologie. In *Katō Shūichi ou penser la diversité culturelle*. Pp. 79-84. CNRS Editions Alpha. [PDF](#)
- 2012 加藤周一先生の「いま」「ここ」—— 日本文化における時間と空間の観念 文化人類学的視野からの考察。 「加藤周一における「時間と空間」ジュリー・ブロック編。京都・かもがわ出版。81–88 頁。
- 2009 The Monkey as Self in Japanese Culture. In, *Culture Through Time*, ed. By Emiko Ohnuki-Tierney. Stanford University Press, pp. 128-153.
- 2008 Du "cru" au "frais" et "vivant" dans les cultures alimentaires au Japon. In, *Manger: Français, Européens et Américains Face à l'Alimentation*, Claude Fischler et Estelle Masson. Paris: Odile Jacob. Pp. 283-303. [PDF](#)
- 「死」を与えられた青春——学徒兵の「死」との決闘 『思想の身体』 第3 (死の巻)。95-125 頁。中村生雄編。春秋社。
- 2006 Against "Hybridity": Culture as Historical Process. In, *Dismantling the East-West Dichotomy: Views from Japanese Anthropology*, Joy Hendry and Dixon Wong, eds. ラウトリッジ社。11-16 頁。 [PDF](#)
- 2006 日本文化研究の将来 -- 「地域」、「国」、「世界」の軸、及び文化の歴史化 「地域」をどうとらえるか -- ローカル文化の継承と再創造 2006 年 3 月。成城大学民俗学研究所。20-29 頁。
- 2005 Japanese Monarchy in Historical and Comparative Perspective. In, *The Character of Kingship*. Declan Quigley, ed. Berg 出版社。209-232 頁。 [PDF](#)
- 2004 Always Discontinuous/Continuous and Hybrid by Its Very Nature: The Culture Concept Historicized. *Ethnohistory* 52 (1): 179-95 頁。 [PDF](#)
- 2004 Betrayal by Idealism and Aesthetics: Special Attack Force (Kamikaze) Pilots and their Intellectual Trajectories (Part 1). *Anthropology Today* 20(2): 15-21 頁。 [PDF](#)
- 2002 「大嘗祭と王権」。『天皇と王権を考える』 第5巻 『王権と儀礼』 網野善彦 他編。41-67 頁。岩波書店。
- 2001 Historicization of the Culture Concept. *History and Anthropology* 12(3): 213-54. [PDF](#)
- 1999 We Eat Each Other's Food to Nourish our Body: The Global and the Local as Mutually Constituent Forces. In, *Food in Global History*, Raymond Grew, ed. Westview Press. 240-272 頁。 [PDF](#)
- 1999 Ainu Sociality. In, *Ainu: Spirit of a Northern People*, W.W. Fitzhugh & C. O. Dubreuil, eds. National Museum of Natural History. スミソニアン。240-245 頁。 [PDF](#)
- 1998 A Conceptual Model for the Historical Relationship between the Self, and the Internal and External Others: The Agrarian Japanese, the Ainu, and the Special Status People. In,

- Making Majorities*. D. Gladney, ed. Stanford: スタンフォード大学出版。31-51 頁 (本文)。287-294 頁(注釈)。309-313 頁 (参考文献)。 [PDF](#)
- 1998 Cherry Blossoms and Their Viewing. In, *The Culture of Japan as Seen Through its Leisure*. Sepp Linhart and Sabine Frühstück, eds. ニューヨーク州立大学出版。213-236 頁。 [PDF](#)
- 1997 McDonald's in Japan: Changing Manners and Etiquette. In, *Golden Arches East: McDonald's in East Asia*, James Watson, ed. スタンフォード大学出版。161-82 頁(本文)。230-34 頁 (注釈)。本自体はキリヤマ環太平洋文学賞 (ノンフィクション) 最終候補。1998 年。 [PDF](#)
- 1997 The Reduction of Personhood to Brain and Rationality? Japanese Contestation of Medical High Technology." In, *Western Medicine as Contested Knowledge*, A. Cunningham and B. Andrews, eds. マンチェスター大学出版。212-40 頁。 [PDF](#)
- 1997 The Ainu Colonization and the Development of "Agrarian Japan" -- A Symbolic Interpretation. In, *New Directions in the Study of Meiji Japan*, H. Hardacre, ed. E. J. Brill. E. J. Brill. 656-675 頁。 [PDF](#)
- 1996 The Anthropology of the Other in the Age of Supermodernity. *Current Anthropology* 37 (3): 578-80 頁。
- 1996 Selves and Others in Japanese Culture in Historical Perspective. In, *Narratives of Agency: Self-Making in Indian, Chinese and Japanese Cultures*. W. Dissanayake, ed. ミネソタ大学出版。151-77 頁。
- 1995 Representations of the Monkey (Saru) in Japanese Culture. In, *Ape, Man, Ape-man: Changing Views Since 1600*, Raymond Corbey and Bert Theunissen, eds. ライデン大学。297-308 頁。
- 1995 Structure, Event and Historical Metaphor: Rice and Identities in Japanese History. *Journal of Royal Anthropological Institute* 30(2) (1995 年 6 月): 1-27 頁。 [PDF](#)
- 1995 「日本文化の中の桜」 『植物の世界』 52. 5-126-5-127 頁 朝日新聞社出版局。
- 1994 Rice as Metaphor of the Japanese Self. In, *Paths Toward the Past*, R. Harms, J. Miller, D. Newbury, & M. Wagner, eds. 米国アフリカ研究会出版。455-72 頁。 [PDF](#)
- 1994 Two Observations of Japanese Religiosity and Rationality. In, *The 4th International Congress on Traditional Asian Medicine, Proceedings, Part I*: 13-74 頁。 [PDF](#)
- 1994 The Power of Absence: Zero Signifiers and Their Transgressions. *l'Homme* 130 (avril-juin), XXXIV (2):59-76 頁。 [PDF](#)
- 1994 Brain Death and Organ Transplantation: Cultural Bases of Medical Technology. *Current Anthropology* 35 (3): 233-254 頁。
- 1993 Nature, pureté et soi primordial: La nature japonaise dans une perspective comparative. *Géographie et Cultures* 7:75-92 頁。
- 1993 Presence of the Absence: Zero Signifiers and Zero Meanings. *Semiotica* 96 (3/4): 301-08 頁。
- 1992 Vitality on the Rebound: Ritual's Core? *Anthropology Today* 8(5):17-20.
- 1991 The Emperor of Japan as Deity (Kami): An Anthropology of the Imperial System in Historical Perspective. *Ethnology* XXX (3): 1-17 頁。 [PDF](#)

- 1991 Embedding and Transforming Polytrope: The Monkey as Self in Japanese Culture. *Beyond Metaphor: Trope Theory in Anthropology*, J. W. Fernandez, ed. スタンフォード大学出版。159-189 頁。
- 1991 映画「タンポポ」にみる日本人の自己意識。札幌大学教育部研究 リベラルアーツ No. 4: 108-18 頁。
- 1990 Monkey as Metaphor?: Transformations of A Polytypic Symbol in Japanese Culture. *Man* (N.S.) 25(1990): 399-416 頁。 [PDF](#)
- 1990 The Ambivalent Self of the Contemporary Japanese. *Cultural Anthropology* 5:196-215 頁。 [PDF](#)
- 1990 Introduction: The Historicization of Anthropology. In, *Culture Through Time*, E. Ohnuki-Tierney, ed. スタンフォード大学出版。1-25 頁。 [PDF](#)
- 1990 The Monkey as Self in Japanese Culture. In, *Culture Through Time*, E. Ohnuki-Tierney, ed. スタンフォード大学出版。128-153 頁。 [PDF](#)
- 1989 Health Care in Contemporary Japanese Religions. In, *Caring and Curing: Health and Medicine in the Eastern Religious Traditions*, ed. by L.E. Sullivan. マクミラン社。59-87 頁。 [PDF](#)
- 1986 Cultural Transformations of Biomedicine in Japan--Hospitalization in contemporary Japan. *International Journal of Technological Assessment in Health Care* 2(2): 231-241 頁。
- 1986 Socio-Cultural Dimensions of Renal Transplants in Japan. *Health Policy* 6:279-282 頁。
- 1984 Monkey Performances -- A Multiple Structure of Meaning and Reflexivity in Japanese Culture. In, *Text, Play and Story*, E. Bruner, ed. Washington, D.C.: アメリカ人類学会。278-314 頁。 [PDF](#)
- 1984 Native Anthropologists. *American Ethnologist* 11(3): 584-86 頁。
- 1982 When Paradigms Collide: Introduction to *Symbolism and Cognition* II. With Norman E. Whitten, Jr. *American Ethnologist* 9(4): 635-643 頁。
- 1981 Phases in Human Perception/Conception/Symbolization Process -- Cognitive Anthropology and Symbolic Classification. *American Ethnologist* 8(3): 451-467。 [PDF](#)
- 1980 Ainu Illness and Healing--A Symbolic Interpretation. *American Ethnologist* 7(1): 132-151 頁。
- 1980 「文化と分類--アイヌの空間観念を例として」。『思想』No. 676。1980年10月。26-45 頁。
- 1980 Shamans and Imu: Among Two Ainu Groups--Toward a Cross-Cultural Model of Interpretation. *Ethos* 8(3): 204-228. Reprinted in, *Culture Bound Syndromes*, R. C. Simons and C. C. Hughes, eds. Dordrecht, Holland: Reidel 社。91-110 頁。 [PDF](#)
- 1977 Health Care in Contemporary Japanese Religions. In, *Healing and Restoring: Health and Medicine in the World's Religious Traditions*. L. E. Sullivan, ed. New York: Macmillan. 59-87 頁。
- 1977 An Octopus Headache? A Lamprey Boil? Multisensory Perception of 'Habitual Illnesses' and World View of the Ainu. *Journal of Anthropological Research* 33(3): 245-257 頁。 [PDF](#)
- 1977 The Classification of the 'Habitual Illnesses' of the Sakhalin Ainu. *Arctic Anthropology* XIV(2): 9-34 頁。

- 1976 Regional Variation in Ainu Culture. *American Ethnologist* 3(2): 297-329 頁。 [PDF](#)
- 1976 Shamanism and World View--Case of the Ainu of the Northwest Coast of Southern Sakhalin. In, *The Realm of the Extra-Humans: Ideas and Actions*, A. Bharati, ed. Mouton 社。 175-200 頁。 [PDF](#)
- 1974 Another Look at the Ainu. *Arctic Anthropology* XI: 189-95 頁。
- 1973 The Shamanism of the Ainu of the Northwest Coast of Southern Sakhalin. *Ethnology* XII (1): 15-29 頁。 Abstracted in *Human Behavior* (June, 1973): 54-55。 [PDF](#)
- 1973 Mashio Chiri--Ainu Scholar of Ainu Culture and Professor of Linguistics. *American Anthropologist* 75: 868-876 頁。 藤本英夫氏との共著。 [PDF](#)
- 1973 Sakhalin Ainu Time Reckoning. *Man* 8(2): 285-299 頁。 [PDF](#)
- 1972 Spatial Concepts of the Ainu of the Northwest Coast of Southern Sakhalin. *American Anthropologist* 74(3): 426-457 頁。 [PDF](#)
- 1969 Concepts of Time among the Ainu of the Northwest Coast of Sakhalin. *American Anthropologist* 71:488-492 頁。 [PDF](#)

デジタル出版

- 2010 Ainu Komonjo (18 世紀—19 世紀の古文書・写本) –Ohnuki Collection.
アイヌ写本。日本語・英語の説明付。
<http://digicoll.library.wisc.edu/EastAsian/subcollections/JapanRiceAbout.html>

百科事典

- 2021 Galvanizing Power by Political Leaders. Academia Letters, 2021.
[https://www.academia.edu/47772361/Emiko Ohnuki Tierney Galvanizing Power by Political Leaders](https://www.academia.edu/47772361/Emiko_Ohnuki_Tierney_Galvanizing_Power_by_Political_Leaders)
- 2014 Japan: Sociocultural Aspects. *International Encyclopedia of the Social and Behavioral Sciences*. 2nd edition. Ed. By James Wright. Oxford: Elsevier.
- 2014 East Asian Studies: Culture. *International Encyclopedia of the Social and Behavioral Sciences*. 2nd edition. Ed. By James Wright. Oxford: Elsevier.
- 2009 Kamikaze Pilots. *Encyclopedia of Death and Human Experience*. Ed. By Clifton D. Bryan and Dennis L. Peck. Sage Publications.
- 2001 “Culture,” “Society,” “Japan.” *International Encyclopedia of the Social and Behavioral Sciences*. Edited by N. J. Smelser and P. B. Baltes. Pp. 7956-60. Oxford: Pergamon.
- 2001 East Asian Studies: Culture. In, *International Encyclopedia of the Social and Behavioral Sciences*. N. J. Smelter and P. B. Baltes, eds. Pp. 3954-57. Oxford: Pergamon.
- 1993 Ainu. *Encyclopedia of World Cultures*, Vol. V. P. Hockings, ed. Human Relations Area Files. Boston: G.K. Hall. Pp. 7-10. [PDF](#)
- 1987 「暮らしの中の健康、病気観」 『朝日百科—日本の歴史』 97:9/276-9/279.
- 1987 Ainu religion; Inao; Iresu-Huchi; Kamuy. *The Encyclopedia of Religions*, Mircea Eliade, ed.マクミラン社。 Vol. 1:159-61 頁。 Vol. 7: 147 頁。 Vol. 7:283-84 頁。 Vol.8 :245-46 頁。
- 1978 Ainu. *The World Book Encyclopedia*. Vol. A-1. Chicago: Field Enterprises Educational Corporation. P. 153.

基調講演・特別講演

Keynote address: “The Symbolic Power of Women in Ainu Society.” International Symposium “Byways of indigeneity.” November 25, 2024. INALCO, Paris.

“The Need for Historicization of Research on Contemporary Societies.” November 28, 2024. École des hautes études en sciences sociales, Paris.

“Tokkotai’in.” Ax:son Johnson Foundation. Stockholm, Sweden. September, 2018.

Declined due to teaching duties.

John Howes Memorial Lecture. The Social and Political Lives of Japanese Cherry Blossoms. Asian Center. Department of Asian Studies. University of British Columbia. November 22, 2018.

The Toyota Lecture: Social and Political Lives of Japanese Cherry Blossoms. Center for Japanese Studies, University of Michigan. Oct. 4, 2018.

Key note address: Sakhalin Ainu after Pilsudski. 4th International Conference on Bronislaw Pilsudski and his Scholarly Heritage (41BPC). October 18, 2018. Declined due to teaching duties.

“Beautiful Plants, Ambivalent Animals, Humans: “Japanese Natures” in Historical Perspective.” Lecture delivered at Laboratoire d’anthropologie sociale, Collège de France. March 14, 2018. Seminar by Prof. Philippe Descola.

“Japanese Foodways: The Global and the Local.” Professor Claude Fischler’s seminar. Institut Interdisciplinaire d’Anthropologie du Contemporain (IIAC) Institut Interdisciplinaire d’Anthropologie du Contemporain (IIAC). March 19, 2018.

“The Japanese Emperor, the Rice Farmer – Imperial Power and Symbolic Capital.” April 14, 2018. At a conference, “Kings and Dictators: The Legacy of Monarchy and the New Authoritarianism in Asia” (April 13-14, 2018). Cornell University.

Keynote Address: “Why and How Did I Write Flowers that Kill?” European Association of Japanese Studies. The École des Hautes Études en Sciences Sociales, France. 2016 年 7 月 4 日

Institut d’Études Avancées –Paris. “Kamikaze: The Myth and its Lessons.” 2016 年 6 月 27 日

Collège de France: “The Soul, the Emperor and the Monkey: Continuity and Discontinuity in Japanese Ontology in Historical and Cross-Cultural Perspective.” For, Laboratoire d’anthropologie sociale, Séminaire “Les raisons de la pratique: invariants, universaux, diversité,” under the direction of Philippe Descola. 2016 年 6 月 10 日

Institut d’Études Avancées –Paris. “Aesthetic and Militarization.” 2016 年 6 月 7 日

Collège de France: “Symbolisme et économie politique: Riz comme soi dans l’histoire japonaise.” 2014 年 1 月 13 日

Collège de France: “Comment les fleurs peuvent-elles tuer? : Opacité de la communication dans les espaces politiques. 2014 年 1 月 7 日

“How Do Flowers Kill? -- The Japanese Emperor and Modern Dictators.” The Kluge Lecture, Thomas Jefferson Building, アメリカ国議図書館クルーギーセンター. 6 月 25 日, 2009.

The Kluge Lecture. “Blooming Cherry Blossoms, Falling Cherry Blossoms: Symbolism of the Flower in Japanese Culture and History. Thomas Jefferson Building, アメリカ国議図書館クルーギーセンター. 4 月 2 日, 2009.

Keynote Address "Historicization of Anthropology." The Israeli Anthropological

- Association, Be'er Shava, Israel. イスラエル人類学会。2007年5月9日。
- Aesthetics, Idealism, and their Betrayal: Japan's Militarism in Cross-Cultural Perspective.” 香港大学。第16回日本人類学会。2005年3月18日。
- "Culture and Agriculture: Agricultural Sustainability and Consumer Demands in Global Era." Conference on, "Sustaining East Asian Agriculture." ケンタッキー大学。2006年10月30日。
- "Success of Kanpo in Contemporary Japan: Everyday Health Care and the Body." Conference on "Health, Illness and Traditional Medicine in East Asia." ワシントン大学ミズーリ大学合同学会。2006年10月6日。
- "Militarization of Quotidian Aesthetic." Conference on "War and Peace." 国際交流基金/ 総合研究大学院大学。2006年3月23日。
- 日本学士院。 “米と日本文化。” 1996年1月20日。

その他の講演 (招待された講演の中から選抜。括弧内は回数)

- アメリカ合衆国: シカゴ大学 (人類学部 [2回]、Human Development Dept. [2回])。ミシガン大学 (日本研究センター等 [6回])。カリフォルニア大学バークレー校 (人類学部、日本研究センター [3回])。カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (日本研究センター [2回]、フォークロアプログラム [1回])。ハーバード大学 [7回] (人類学部、ライシャワー日本研究所、世界宗教研究センター)。
- スタンフォード大学 (人類学部)。ペンシルベニア大学 (社会学部、Asch 政治民族紛争問題センター)。プリンストン大学 (人類学部 [3回])。エール大学 [3回] (ロースクール、東アジア研究センター、人類学部)。ニューヨーク大学 (人類学部)。ニューヨーク市立大学大学院センター (人類学部)。コロンビア大学 (医学部)。ヴァージニア大学 (人類学部；東アジア研究センター)。ミネソタ大学 (人類学)。アイオワ大学 (人類学部、アジア太平洋研究センター [2回])、ヴァサ大学；ローチェスタ大学 (人類学部)。行動科学高等研究センター。高等研究所。アメリカ自然史博物館 (ニュー・ヨーク)。カーネギー カウンシル。
- 日本: 学士院。東京大学 (人類学部、医学部)。京都大学 (3回)。大阪大学。慶応大学。成城大学。総合研究所大学。国際文化会館。国際日本文化研究センター、上智大学、イタリア国立東方学研究所/フランス国立東方学研究所、その他
- イギリス: オックスフォード大学 (社会文化人類学研究所、セントアントニー校、セントキャサリン校、日産日本研究所 [4回])。ケンブリッジ大学 (社会人類学部、キングスカレッジ、ロビンソンカレッジ [3回])。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (人類学部 [2回])。ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン (人類学部)。マンチェスター大学 (人類学部)。ダラム大学 (人類学部)。セント・アンドリュース大学。
- フランス: Collège de France (3) ; ソルボンヌ・École Pratique des Hautes Études。École des Hautes Études en Sciences Sociales (6回)。Centre d'Études Transdisciplinaires —Sociologie, Anthropologie, Histoire (CETSAH); Institut d'Études Avancées de Paris

(3回)。Réseau Asie パリ日本文化会館 (1回)。INAICO (1回)。

ドイツ: フリー大学、ベルリン大学 (日本研究所)。ハイデルベルク大学 (宗教研究学部、日本研究学部)。

イスラエル: ヘブライ大学 (歴史学部、社会学部、人類学部)。テルアビブ大学。ハイファ大学。

イタリア: ベニス大学『2回』。ベラージオロックフェラー研究センター。

台湾: 中央研究院 (Academia Sinica)。国立東華大學 (Dong Hwa 大学)

オランダ: アムステルダム大学 [3回]。ライデン大学。

カナダ: マギル大学 (シンクタンク)。ブリティッシュ・コロンビア大学

その他: ウィーン大学。香港大学。バーセローナ大学

学会メンバーシップ (選挙後任命)

アメリカ学士院正会員。Fellow, American Academy of Arts and Sciences. 1999 就任。

英国王立人類学会員。Fellow, Royal Anthropological Institute of Great Britain and Ireland. 辞任

英国社会人類学会員。Member, Association of Social Anthropologists of the Commonwealth. 辞任

その他のメンバーシップ

Fellow, American Anthropological Association

Association for Asian Studies (Member)(discontinued)

American Ethnological Society (Member)

Society for Cultural Anthropology (Member)(discontinued)

Japan Anthropology Workshop

編集委員 Editorial Duties

HAU Journal of Ethnographic Theory. Editorial Board. 2013 任命。2014 年 11 月辞任。2017 年 11 月再度任命。現在まで。

International Advisory Board, *Ethnos: Journal of Anthropology*, 2006 より現在まで。

Editorial Board, *Studies in Anthropology & History*. Book series published by Harwood Academic Publishers. 1995 年 10 月より。

Editorial Board, *Anthropology and Medicine: An International Journal of Medical Anthropology*, 1996 年 8 月より現在まで。

Editorial Consultant, *Social Analysis*, 1986 年任命。

Associate Editor, *American Ethnologist*. 1980-1984 年。

National/International Offices

FIAS (French Institutes for Advanced Study)。選考委員。2013-2023; 2025-2030.

European Institutes of Advanced Study. Selection committee。

アメリカ学士院. メンバー。2002-現在まで。中部支部の Council member。

人類学選考委員 2021—2023。

National Endowment for the Humanities. The Asian, African, and Near Eastern Studies, Section, 1999.

アベフェローシップ 選考委員 1993-1998.

American Ethnological Society. Councilor, 1987- 1988 (resigned due to schedule conflict).

American Anthropological Association. Member, Committee on the Status of Women in Anthropology (1984-1987).

National Research Council. Member, Working Group on Culture and Ideology, Ten-Year Outlook on Research Opportunities in the Behavioral and Social Sciences. 1985.

専門: 象徴人類学 歴史人類学 医療人類学 理論と方法論

言語人類学 食物人類学 戦争と美意識 政治的／文化的ナショナリズム

社会的周辺化と不平等 アイデンティティー 日本文化 “日本の自然” アイヌ文化

言語: 日本語 (母国語)、英語、アイヌ語、中国語 (読解)

一般読者向け著書と講演

一般向けの記事、対談、論評、出版物

平等と不平等：理想と現実 - アメリカ社会の現状。アステオン。100号 242-248 頁。
2024年5月。

Pure Obsession. *Cherry Ingram* by Abe Naoko 書評 *Nature Research* Vol. 5, June 2019.
Pp. 552-553.

Time, 2017年4月3日。Olivia B. Waxman : The Surprising History of Cherry Blossoms.
Kamikaze, Cherry Blossoms and Nationalisms を引用。

エコノミストの常時コンサルタント (米問題、2009年12月；第二次世界大戦、
拙書引用 2014年3月1日)。

朝鮮日日新聞김수혜。On the “kamikaze” and contemporary Nationalism
in Japan. March 14, 2015. By Sue Hye Kim

Washington Post. 2014年3月28日。On Cherry Blossoms.

PBS 拙著 Kamikaze, Cherry Blossoms and Nationalisms について。

<http://www.pbs.org/newshour/rundown/2013/04/for-more-than-1000-years-cherry-blossoms-move-world-to-emotion.html>

Flowers that Kill, or, All about Cherry Blossoms. University Roundtable, Univ.
Of Wisconsin, 2012年3月14日。

Rice in Japanese Culture. ジャパン・タイムス 2011年3月13日。

Der Mißbrauch der Ästhetik: Die intellektuellen Wege der Kamikaze-Flieger
<http://haiku-steg.de> July 1, 2008年7月1日。1-21 頁。

インタビュー「ガラスの天井」は壊したか。撤退ヒラリーの今後。

読売ウィークリー。2008年6月22日。

“Kamikaze Diaries” – Excerpts in *Eyewitness to History*, ed. By Robert Fox. The Folio
Society, ロンドン。

- 米大統領選「カギは分裂を超える力だ」朝日新聞。2008年3月6日。
- 「網野先生と私」2007年月報5『網野善彦著作集』第12巻。4-6頁。岩波書店。
- "Le mythe gaulois." Entretien avec Emiko Ohnuki-Tierney, propos recueillis par Laurent Testot. *Sciences Humaines* 184 (2007年7月)
- "Letters to the Past: Iwo Jima and Japanese Memory." A review of Clint Eastwood's "Letters from Iwo Jima." open/Democracy. 2007年2月23日。 [PDF](#)
- 「桜の美意識軍国が利用」朝日新聞。2006年12月9日。
- 「国中無神経と思われる」（小泉首相靖国神社参拝について）朝日新聞。2006年8月15日。
- "Death Missions: Can Japanese kamikaze pilots be compared with today's Islamic suicide bombers?" *New Humanist* 2006年9月/10月: 8-9頁。
- Interview for *On Wisconsin* (2005年春) with Michael Penn on "A Short, Tragic Bloom: Diaries reveal a different side of Japan's kamikaze attack force." *On, Kamikaze, Cherry Blossoms and Nationalisms*. 14-15頁。
- "Rice as Self: Japanese Identities Through Time." *Education About Asia* 9(3)(2004): 4-9.
- Commentary for *Current Anthropology* (2004年2月) on Masamichi S. Inoue: New/Old Social Movements and the U.S. Military in Okinawa.
- 医療人類学『テーマ30 生命理論』86-87頁。教育出版企画部編。教育出版。2004年
- 「特攻隊員、出陣学徒の死生観を見つめて」色川大吉氏との対談。2003年。
- 『世界』No. 718 (2003年9月): 157-165頁。
- "La nature comme culture: le pur, le frais, le vivant u Japon. A Congrilait, 26^{ème} Congrès Mondial de Laiterie, Paris. 2002年9月24日。
- "McDonald's dans l'empire du Soleil-Levant." *Sciences Humaines* No. 135 (2003): 28-29
- The Call for A New Asian Identity: An Examination of the Cultural Arguments and their Implications." *Japan Programs Occasional Papers* No. 5: 8-9頁。Carnegie Council on Ethics and International Affairs. 1994年3月31日。
- Forward. To *Celebration of Identity: Multiple Voices in American Ritual Performance*. Pamela R. Frese, ed. Westport, CT: Bergin & Garvey. 1993. IX-XI頁。
- 「文化と姓名」（1月9日）；「英国での階級意識」（1月24日）；「アメリカ人は「ノー」と言わない国民」（2月7日）；「アメリカでの「政治的に適切な」発言」（2月22日）；「外来語」「外国語」（3月8日）；「食卓の礼儀」（3月23日）。神戸新聞。1991年。
- 「聖」なる概念「平等」からみた米国社会。外交フォーラム。1990。No.25。56-58頁。
- 「病気観は文化が左右する」神戸新聞。1990年7月6日。
- 「日本人の自己感」北海道新聞。1990年6月11日。
- Guest Editorial. In, *Cultural Anthropology: Perspectives on the Human Condition*. R. Lavenda and E. Schultz. West Publishing. 1987年。
- 「エミコ」と呼ばれて。From America. アステオン 5号。131-134頁。

ラジオ、テレビ、フィルム&新聞インタビュー (2001 年以降選抜ずみ)

BBC World Service インタビュー。「令和の米騒動」2025 年 5 月 1 日. 10-11am.

Podcast: 'Memories of wartime Japan and reflections on the kamikaze'" Russell Hogg.

<https://www.buzzsprout.com/207869/8784726-memories-of-wartime-japan-and-reflections-on-the-kamikaze>

ニューヨークタイムズの Ben Dooley の特攻隊に関するインタビュー。2020 年 9 月 3 日

Tribune de Genève (Frederic Thomasset). On Japanese cherry blossoms and their meanings: Past and present. March 18, 2015.

Blakeway TV, London. Interview on the cherry trees in DC. February 19, 2015.

BBC Worldwide (Thomas Lewton) – Korean/Japanese relationship. February 25, 2015.

The Battle of Iwo Jima. Talking History on Newstalk 106-108 FM, アイルランド (ダブリン)。2013 年 10 月 29 日.

PBS NewsHour. Interview by Ellen Rolfes. 2013 年 3 月 28 日.

University of the Air. Wisconsin Public Radio. Interview on my book, *Kamikaze, Cherry Blossoms and Nationalisms*. Norman Gilliland & Emily Auerbach. 2012 年 9 月 23 日 ; 2014 年 1 月 5 日 ; 2014 年 6 月 8 日。

<https://www.wpr.org/shows/occupation-japan-2>

Korean Broadcasting System. Interview on “Kamikaze Pilots” on 3 月 1 日, 2012.

Time magazine. Interview on the tsunami victims’ mass burial by Hillary Benthouse 3 月 29 日, 2011.

BBC On political economy and Japanese culture by Simon Parks and Dan Saladino. 3 月 4 日, 2011.

Pindorama Films (Brazilian Television company). “Um Pé de Quê ?” 3 月 28 日 2010.

C-Span. Kamikaze Diaries. 3 月 19 日 2010. Interviewed at Virginia City Hall.

Reading from my *Kamikaze Diaries*, at the Virginia Festival of Books. 4 月 19 日, 2010:

“Asia at War: The Long March, Kamikaze Pilots, and Comfort Women” with Dean King and David. L. Robbins

“How Do Flower Kill? -- The Japanese Emperor and Modern Dictators.” Wisconsin Public Radio interview, “Here on Earth” by Jean Feraca. 2009 年 7 月 1 日 3:00-4:00 pm

Roll Call Around the Hill: For Japanese, Blossoms are Laden with Symbolism: Library of Congress Lecture Unveils the Mystery and Meaning Behind the Flowering Trees. 2009 年 4 月 1 日. Pp. 25-26. Interview by Jude Marfil.

WPR Here on Earth with Jean Feraca. 2008 年 2 月 22 日。3:00-4:00 pm. Rice as Self, Food and Identity.

Artline Films (Paris, France). “*L’Empire du Sushi*” in the series, “Global Food.” France 5 (public channel). 2007 年 12 月 30 日。2:15 pm.

CNN.com/world. 2007 年 7 月 8 日。In, Japanese look for new meaning from kamikaze sacrifice.

WPR Here on Earth with Jean Feraca. 2007 年 5 月 30 日。3:00-4:00 pm. On Clint Eastwood's film: Letters from Iwo Jima. クリント・イーストウツドの「硫黄島からの手紙」の評。

- WPR Here on Earth, with Jean Feraca. 2006 年 11 月 9 日。 On, *Kamikaze Diaries: Reflections of Japanese Student Soldiers*. 3:00-4:00 pm.
Border's Bookstore. "The World Beyond our Borders" series. Reading from my *Kamikaze Diaries*. November 9, 2006.
- Edgewood Pictures. Interview in "Wings of Defeat," film on *Tokkōtai*. 2006 年 10 月 16 日。
- NPR/WAMU Kojo Nnamdi Show. On, *Kamikaze Diaries: Reflections of Japanese Student Soldiers*. 2006 年 8 月 23 日。 1:00-2:00 p.m.
- BBC, "The World." On, *Kamikaze Diaries: Reflections of Japanese Student Soldiers*. Adeline Sire, producer. 2006 年 7 月 18 日。
- BBC Australian Broadcasting. "Rice and Identity in Japan." 2006 年 7 月 13 日。
- BBC, "The World Today", 2006 年 7 月 11 日。 On, *Kamikaze Diaries: Reflections of Japanese Student Soldiers*, Karen Chan, Producer. 数カ国語で放送。
- BBC, Radio 4, "Thinking Allowed." On, *Kamikaze Diaries: Reflections of Japanese Student Soldiers*. 2006 年 6 月 7 日。 Torquill MacLeod, producer; Laurie Taylor, presenter.
- NPR (KCUR-FM) B On, *Kamikaze, Cherry Blossoms, and Nationalisms: The Militarization of Aesthetics in Japanese History*. 11:00-11:45 am. 2004 年 3 月 10 日。
- NHK テレビ。 ねじまげられた桜について。 インタビューと授業シーン (Anthropology 940)。 2004 年 3 月 30 日放映。
- WSUI B University of Iowa. 2002 年 10 月 14 日放送。
Dialogue with Professor S. Vlastos on, *Kamikaze, Cherry Blossoms, and Nationalisms: The Militarization of Aesthetics in Japanese History*.
- BBC (Horizon) special on "Rice." 2001 年 4 月 16 日。 30 分。